

期限付き講師 公立学校共済組合への加入実現！

再任用教員と待遇逆転？

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組
合費に含む

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

定年退職後は再任用？講師？どっちがお得？

2001年、再任用制度が導入された時から、再任用より期限付き講師の方が年収が多いことは現場で話題になっていました。

再任用は、雇用が保障されており、公立学校共済組合に継続して加入できることから、福利厚生が充実で期限付き講師との年収の差について、納得のいかない納得をしてきました。

2020年4月から、会計年度任用職員制度が導入され、その待遇との比較から期限付き講師の待遇も大幅に改善されました。給与の号俸が引き上げられ、公立学校共済組合への加入などがその例です。これは、長年の運動の成果です。

一方、再任用での雇用は、定年退職前の7割程度の給与。扶養手当と住居手当が支給されません。一時金の勤労手当の支給率が約半分以上位区分に査定されることありませぬ。にもかかわらず、多くの再任用職員は、定年退職前と変わらない仕事内容をこなしています。中3の学年主任、教務主任、

2020年4月より会計年度任用職員制度が導入されました。これに伴い、期限付き講師の待遇が改善され、公立学校共済組合への加入が可能になりました。また、一定期間経たのちは退職金が支給されるようになりました。長年の待遇改善への運動の成果です。

生徒指導主事、学級担任あげればきりがありません。「昨年度とまったく仕事内容が同じなのに、給与は7割程度。これじゃモチベーションは上がらない」と再任用教員の嘆きがあちこちで聞こえてきます。

また、定年退職後、期限付き講師で4月1日から任用された場合、退職手当が任用終了後でないと支給されません。再任用では、5月に満額支給されます。これは、2019年度に条例が改正されたために発生した矛盾であり、県教委もこれは是正の必要があると認

めています。そもそもその任用制度の違いから起こっていることですが、同一労働同一賃金の原則から考えれば、再任用の給与減額も、教諭と期限付き講師との給与の差も改善の余地があります。新型コロナウイルス感染症対策で、人材も人員も必要です。常に感染リスクを抱えながらより精度の高い勤務が求められています。にもかかわらず、教育を安上がり行政の意図があからさ

再任用制度による任用と講師登録制度による任用との比較について 給料の比較表モデル

元職	任用形態	職名	給与月額	給与年収
教諭等	再任用(フルタイム)	教諭	271,100	4,255,148
	再任用(ハーフ)	教諭	135,550	2,127,572
	期付講師(フルタイム)	講師	262,200	4,656,774
	期付講師(20時間)	講師	135,900	1,630,800
養護教諭	再任用(フルタイム)	教諭	271,100	4,255,148
	再任用(ハーフ)	教諭	135,550	2,127,572
	期付講師(フルタイム)	講師	262,200	4,656,774
栄養教諭	再任用(フルタイム)	教諭	271,100	4,255,148
	再任用(ハーフ)	教諭	135,550	2,127,572
事務職員	再任用(フルタイム)	教諭	255,200	3,810,246
	再任用(ハーフ)	教諭	127,600	1,905,122

とりあえず配置した

2019年度香川県の小中学校には20名以上の教員が配置されなかったところもあるが、1年間未配置の現場もあった▼2020年度、未配置を特別支援学級の担任とし、在籍の児童をすべて交流先で過ごしている学校があった▼ある中学校では、かなり高齢の英語教員の代替が着任した。しかし、1時間も英語の授業をしないという。別の学校。同じく高齢の英語代替教員も、ほとんど授業をもたないらしい▼いずれも現場からは現場の負担が増えて困るという声が地教委にあがっているが、

続けて雇用されているという▼全国的に、教員不足、臨時教員不足と言われて久しい。それでも、香川県はかなりのがんばりをして、明確な未配置を大量に出したのはここ数年だ▼現場は、人員は確保したい。しかし、人がいればいいというものでもない。ある地教委は、現場の悲痛な声に対して「人がいるというから配置した。来ただけでも良しとしなければ」と答えた。聞こえてきている▼高齢者がいけないというわけではなく、県教委のただやみくもに人を配置し、あとは現場任せという姿勢に腹立たしさや呆れがこみあげてくるのだ。これは、教育崩壊だ。



2019年度香川県の小中学校には20名以上の教員が配置されなかったところもあるが、1年間未配置の現場もあった▼2020年度、未配置を特別支援学級の担任とし、在籍の児童をすべて交流先で過ごしている学校があった▼ある中学校では、かなり高齢の英語教員の代替が着任した。しかし、1時間も英語の授業をしないという。別の学校。同じく高齢の英語代替教員も、ほとんど授業をもたないらしい▼いずれも現場からは現場の負担が増えて困るという声が地教委にあがっているが、

特別支援学級が消える？

通級による指導と特別支援学級の垣根を超えた「特別支援教室構想」再び

2005年12月8日中央審議会は、「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」答申を出しました。

中身の無い理念

当時、LD・ADHD・高機能自閉症などの児童生徒の学習参加のありようが学校現場の喫緊の課題でした。人手不足の解消のため、注目されていたインクルーシブ教育をうまくリンクさせ、これまでの特別支援学級（答申では特殊学級）を廃止し、障害のある子どもたちが原則として通常の学級に在籍し、特別の場で適切な指導及び必要な支援を受けられることができるような弾力的なシステムとして「特別支援教室（仮称）」を構築するとしました。

す。今、再び検討されています。

現行でも後回し

「障害児教育は教育の原点」とよく言われます。しかし、実態はひどいものです。

電子黒板やタブレット端末、書画カメラなど各クラスまたは、学年団に配置される備品の数に、特別支援学級は入っていません。近年、各校において特別支援学級の学級数が増加。特別支援団が通常学級の学年団と同様に作られることが多くなりました。当然、支援団にも主任が必要ですが、支援団の主任には主任手当はつきません。特別支援学級の子もたちの中には、ゆっくり学習すると学年相当の学習をすることができません。支援学級の担任は、通常学級と同じ教科書を使います。でも、支援学級には、教師用の教科書どころか、児童用の教科書も支給されない学校があります。必要性を訴えることとコピーして使用することを求められました。

援学級入級しているはずですが、交流学習でも、何らかの支援が必要です。にもかかわらず、通常学級の担任や専科教員の空き時間の保障のために、支援学級の担任が交流学習の支援に行かずに、専科としての授業を行っている学校があります。このように学校現場は、通常学級中心で、支援学級は後回し。多くの支援学級の担任は、空き時間ゼロで1週間を過ごしています。在籍が通常学級で特別に

犠牲になる子どもたち

支援をするには、現行よりも教員が必要になります。支援の必要な子どもだけでなく放置は、様々なトラブルが予想されます。しかし、人的配置は現行通り。まさに、絵にかいた餅です。教員が柔軟に対応できる制度は、通常学級やそのかわる教員のために都合よく使いまわされることなのです。

インクルーシブ教育は必要です。しかし、心と制度の両方が整わないままの「特別支援教室」は、支援の必要な子どもたちが犠牲になります。今必要なのは、教員を増やし、通常学級も特別支援学級も少人数で、子どもたちときちんと向き合えるゆとりある環境を整えることこそが、急務ではないでしょうか。みんなで声をあげましょう。

第3回 パワーアップ学習会のご案内

2020年8月7日（金）19:00~20:30
サンメッセ香川 2階 中会議室
香川県高松市林町2217-1 087-869-3333



- 1 2次試験に向けての対策
 - ① 模擬授業・個人面接に向けて
 - ② 合格者からのアドバイス などどなたでも参加できます。
- 参加費 300円（組合員は無料 交通費支給）
参加者には、直前特別講座のご案内があります。

